

ル・モンド紙「經濟週報」欄の語彙(1)

引 田 稔

本誌前号における拙稿『經濟基本仏語の統計的研究』^(注1)において經濟用語を中心とした仏語名詞の頻出度数を明かにしたが、これらの經濟用語を取りかこむ他の一般的な単語が質的にまた量的にどのような形で用いられているか、その実体を併せて明かにすることが經濟の専門分野に関するフランス語の学習を、より能率的に、より効果的に行うために不可欠の条件であることは論を俟たない。そこで本稿並びにその続稿においては、まず前回の研究対象から除外された一般仏語を名詞、形容詞等の品詞別に順を追って区分整理し、經濟用語との関連を常に留意しつつ、その頻度の調査をまとめてみたい。従って、調査の対象は本稿の表題が示すように、前回の『經濟基本仏語の統計的研究』の場合と同一である。両者を併せ考察することによって、問題は一層明かにされるであろう。

注1 「經營と經濟」第四十六年第二冊第一〇六号

前号においても触れたように、フランス文部省の『基本仏語』の設定は、はじめ『初級仏語』、即ちル・フランセ・エレマンテールの呼称で始つたが、後に『基本仏語』(ル・フランセ・フォンダマンタル)と改称された。それは『初級』(élémentaire)という語が、『中級』(moyen)ということばと繋るため、難易による段階を指示し、連想させることが考えられがちであることから、むしろそうした専ら教室的な区分を排して、仏語の全体系を考えた上の最も基本的、且つ本質的な語彙ということの認識の上に立ったものであらうことが推察される。(注2)

注2 《Le présent opuscule s'adresse avant tout aux maîtres, à qui il apporte des matériaux qui devront être élaborés. Il n'est pas immédiatement utilisable pour les personnes qui veulent apprendre le français. Il ne prétend pas être une méthode d'enseignement. Il ne comporte pas de degrés.》Le français fondamental (1er Degré), p. 12.

従って、もし単に『初級』——即ちエレメンテール——と名づけるならば、その内容は初級でありさえすればよいので、または初級的でなければならぬので、重要不可欠と判断される単語も、学習上あるいは教授上の技術的な便宜から除外したり、中級以上に見送られて編入されるというようなことも起り得るであろうが、それはひいては『基本仏語』選定の当初の理念、意図に反する結果となりかねないであろう。『基本語』は、何よりも現実のフランス人によって、日常使用され通用している基本的に重要度の高いものでなければならぬのである。同じく、前号においても言及したアメリカの G. E. Vander Beke 編の French Word Book (注3) や V. A. C. Hannon 教授の仏語単語集を基礎に、八六人の仏語教師の採集協力を得て、広範な単位の刊行物から仏語の頻出度を計算し、その単語集を選定編集しているが、狙いとすると、主観的な偏りに陥ることを避け、客観的に重要な常用語を捕捉し設定しようとしたものである点においては変りはない。語学において、単語の重要性については、第一に考慮されるべき点^(注4)が、使用されている単語の普遍的な頻度数であることは自明である。だが、ここに見落すことのできない問題がある。それは、単語の重要性と頻度とはかならずしも形式的に一致するものではないということである。フランス文部省の『基本仏語』が、その選定に当って、『極めて有用な単語のあるものが、会話においても、書物の中でも、頻出していないという事実を確認』しているように、(注4)たしかにこの事実を無視することはできない。そこで、頻度数による調査の統計的結論を決定するに当って避けることのできないこの欠陥をいかなる形で補うかが、重要な方法論的問題点

となるのである。Vander Beke の作業がその出発点として取り上げた前述の Hemmon のリストは、それ自体まず最初に仏語辞典の助けを借り、比較的頻出度が高いと思われるもの約五、〇〇〇語を前提として据え、ついで V. Beke のグループもまた Petit Larousse illustré を準拠すべき重要な基礎として援用し、単語リストの取捨を行っている反面、フランス文部省の場合は、『頻出語』とは別に、たとえ頻出の機会をもたない語でも、単語自身の意味内容から、即ち統計的な結論とは別個の価値判断から、 \wedge 常に使用される状態にある語 \vee という意味に区別して、それらの語を『常有語』les mots disponibles という呼び名でまとめることを思いついた。(注5)

このように問題の処理は極めてデリケートであるが、以上の考察から基本語を選定するための重要な条件として次の二点を要約することができる。第一に、できるだけ多数の実際の用例を調査の対象とすること。第二に、統計以外の合理的な観点から重要語を決定することである。この第二の点は従って程度の差こそあれ、主観的ならざるを得ない。客観的、科学的、統計的方法はたしかに望ましい方法ではあるが、そのみでは真相を完全に把握し難く思われる余地に対しては、主観的、独断的ではあっても、合理的と信ずるところに向って提案することを躊躇ってはならないし、それが合理的であるか否かは、実験によって、経験によって、一つ一つ解決されて行くであろう。個人あるいはグループによる主観的な要素の強い選定であっては満足できないが、国語という歴史的な産物である言語現象の中から、現実に通用している夥しい単語を調査の対象として、いかに細くその言語分野を区分し、可能な限りという名目の下に、いかに多くの単位冊数(書きことば)あるいは会話(話しことば)を対象とし、それらに現れてくる単語の頻度を計算し、序列をつくってみても、そこには自ら限界があるであろう。また、比較的限られた数の全く基本的な語彙を除くならば、多くの単語はその通用価値の上に時代的な変化を受け、また時代によって、地域によって、多くの新しい語の登場、頻出がみられ、社会生活、即ち言語生活の中心点の移動に伴っての変化が大きく目に映る。V. Beke

の French Word Book の八八種類一〇〇万語を越える単語からの六、〇〇〇語の常用語(頻度数による収録であるから仮りにこう呼ぶことも許されよう)の選定という事業は、もとより常用語と常用語でない語との区別を機械的に立てることではなかったであろうが、今日のわれわれの実際の使用から判断するならばル・フランセ・フォンダマンタルも指摘するように(古いVと結論せざるを得ない。^(注6))このことは、生きた言語の効果的な分類がいかに微妙で流動的な本質をもつものであるかを端的に示している。採録された常用語あるいは基本語と採録されなかった語との限界は常に模糊とし、選定の区画線はどの場合もかなり偶然的な印象を与えないではおかない。

注3 V. A. C. Hannon, A French Word Book Based on a Count of 400,000 Running Words, 1924, University of Wisconsin. (V. Beke: French Word Book, Introduction, p. 1.)

注4 ≪On constate que des mots très utiles ne sont fréquents ni dans la langue écrite ni dans la langue parlée et que, de plus, cette faible fréquence est instable.≫ (Le français fondamental, 1er Degré, p. 13.)

注5 ≪Le Centre a cru pouvoir résoudre le problème posé par ces mots. Il les a considérés comme mots disponibles, parce qu', même si nous n'avons pas souvent l'occasion de les prononcer, nous les avons toujours à notre disposition.≫ibid.

注6 前号拙稿二九八ニーツ。

これに反してフランス文部省選定の『基本仏語』の約三、〇〇〇語はそれが最小限度であることが誰の目にも明らかであるが、それだけに頻度の信頼性は安定し、従って基本語選定の主旨に一層よく適合していると断定される。前号において明かにした『経済用語を中心とした名詞の頻度数調査』に引き続き、本稿においてはそれ以外の一般名詞を同一の調査対象の中から同一手順に従って頻度数を付記したが、前述の観点から V. Beke のリストとの照合は敢て

避て、専ら *le français fondamental* (第一階程および第二階程) との照合を併せ示した。第一階程と第二階程とを区別することも考えられたが、*élémentaire* が *fondamental* に改称された経緯を勘案し、かつまた選定の意図が仏語教授上の段階を示したのではないことを明かにしている点からみて、これら二つのリストをかならずしも分離して取扱う必要はないと結論した。リストの作成は無論この照合を目的としたものではないが、この照合によって明かな第一点は、『基本仏語』が、ここに収録された単語集の過半数を占めているという事実であり、第二点は、『経済週報』欄の語学的な内容、程度が客観的に確められたことである。特に、第一点によって、ル・フランセ・フォンダマンタルの安定した頻度をここでもまた確認できることを重要視しなければならないであろう。また第二点について考察する場合、今回のリストに掲げられた一般名詞は、経済用語との直接的な関係はないにしても、あるいは薄いにしても、経済書(正確には経済関係の記事)の中でみられる仏語である点に、その一般的と称することばの意味があることを留意しなければならない。amelioration, objectif などの語の頻出が注目をひくのはこのためである。△Bulletin▽が、△狭く深く▽よりも、△浅く広く▽論及していることは、前稿において指摘した通りであるが、主題の展開においてのみならず、質的にも、即ち語学的観点からも、極めて適当した学習の素材を提供していることがこれによって実証されていると信ずることができる。もちろん Bulletin を読み得るためには、単に単語の知識のみでは不可能である。それは経済用語に関する程度 of 専門的な知識を前提とすること論を俟たないが、語学と経済知識との関連について深く触れることは今後の機会に譲りたい。しかしながら、単語の分布と同じように、経済論文あるいは広く経済書一般の中でもまたそこに最も普遍的に登場する用語法には経済書以外の一般書とはかなり違った文法的な特徴、あるいは様相が容易に看取されることを指摘しておきたい。

注7 一九六五年五月—一九六六年四月。

今回採録し表に掲げた一般名詞は合計五七三語であるが、頻度数をあえて調査したり、考慮する必要のない少数の自明な基本語、あるいは『基本語』以前のいわば『基底語』ともいべき単語は、徒らに煩瑣な集計を行うことを初めから避けて、頻度の計算に加えることを除外した。仮りにこれらの語を『基底語』と呼ぶことにして、その基底語と、しからざる語との境界をどこに定めるかというような些細な問題は実際には無意味と思われるが、参考のため、その計算から省略された主要な数語を別表リストの冒頭に分離して掲げた。次に、名詞として使用されている語であっても、本来は形容詞であるものについては、形容詞のリスト(次稿)に譲ってある。

リストの見方についてはほぼ前回と同様に、表中のカッコのない数字は、全体を通じての頻度数を示しているが、(注8)カッコ内の数字は、前回と異り、同一論題中での反復使用回数を参考のため掲げることにした。従って、一つの論題の中で同一の語(見出し語)が二回使用されている場合は、頻度は1で示されると同時に、カッコ内は(2)で示されるが、この同一論題内における反復数も異なる論題相互の間では加算された数字をカッコ内に示してある。

注8 同一論題中の頻度は一回として計算する。

次に『基本仏語』との照合であるが、多くの語は主として語尾変化による派生語の関係にある。『基本仏語』のリストには原則としてこれらの派生語についてその一つ一つの語を独立したものとして見出し語に掲げているものが多いが、これは頻度数に立脚した選定が機械的に処理せざるを得ない一面をもつ避けることのできない欠陥でもあろう。だが、われわれの学習上の必要、あるいは観点からすれば、派生語または共通語根による密接に関連する語の間には互いに何らかの表示をもたせることが重要でもあり、有益であると思料される。例えば、difficile に対して difficile は共に基本仏語としてフランス文部省の選定はマークしているが、基本仏語 faible に対して faible はマークされていない。このような場合に本稿のリストでは、faiblesse に同じ語幹の基本仏語との関連を示して、「しる

し」をつけた。表中、『・』のあるものがそれである。右の結果、合計五七三語中、ル・フランセ・フォンダマンタルのリストにある語は二六五語、関連する派生語等六一語、基本仏語でないもの二四七語となった。ル・モンド紙『経済週報』欄を読み得るためにはどの程度の語学上の基礎知識と経済の専門知識が必要であろうかを仏語学習上の問題として捕えるためには、用いられている現用仏語の使用頻度と合せて、登場する単語の価値を具体的に考察していかなければならないが、形容詞その他の品詞の吟味は次回以降において果すつもりである。

一般仏語リスト (名詞篇)

注 単語の頭にしるした *印は〈基本仏語〉を、・印は〈派生語〉その他関連語であることを示す。

I

(統計から省略された主な単語の例)

an	livre
année	maison
automne	homme
bras	mois
chose	mot
femme	nombre
fois	page
fruit	père
heure	printemps
jour	semaine
lait	temps
lecture	tête, etc.

II

A		accentuation
• abandon		* accident
• abondance	2	adage
• abri		• adaptation
* absence	2	adhérent (2)
—totale		administration

bienfait

bombe

* bout

britannique

* budget

bulletin

* but

divers —s

C

* cabinet 3

cadence (3) 2

bonne —

calendrier

* calcul

* candidat

* caractère (2) 3

— spéculatif

— social

caractéristique

* carte

* cas 4

dans le — contraire

* catégorie

* cause 3

— profonde

caution

* centaine

* cerise

* chance 2

* chaîne

* change

* chemin 4

— parcouru

chevet

* choix 2

* circonstance 3

* circulation (2)

citadin 2

* citoyen

* climat 3

— d'attente

— psychologique

coalition

* cœur

— des villes

cohérence

coïncidence

— fortuite

collecteur

collègue 2

—s occidentaux

* colonel

* colonne

* commune

• commissariat

• communiqué (2) 2
 * comparaison
 compliment
 complexe
 — de culpabilité
 complexité
 composante
 principales —s
 composition
 compromis
 concentration
 conception
 — française
 — européenne
 * conclusion
 concours
 — de circonstances
 confrontation
 confusion
 congestion
 * congrès
 * connaissance (2) 2
 * conscience
 * conseiller
 * conséquence (2) 3
 constat 2
 — réconfortant
 * constitution

contexture
 continence
 • continuité
 contrainte
 contribution 3
 — féconde
 — efficace
 contrepartie
 conviction 2
 * corne
 par les —s
 correction
 coup 3
 — de barre
 — de frein
 mauvais —
 courbe 2
 • crainte
 * crise (3) 6
 * critique 2
 cure

D

* danger 2
 déboire
 débat
 * début 2
 décennie 2
 * décision 3

* déclaration	2	discipline	
• découvert (2)		* discours	
dédale		discrétion	
* défaite		* discussion	
* défense	2	disparité	
— nationale		* distorsion	
* définition		• diversité (2)	
défection		doctrine	2
dégradation		— mondiale	
* degré		— officielle	
démangeaison		* document (2)	3
démarche		—s importants	
démocrate		• documentation	
* départ	3	* dommage	
* département		• donnée	
par —		—s récentes	
dépôts	2	* douleur	
désaccord		dynamisme	2
désillusion			
* désir	2	E	
* détail		• écart	
détérioration		échec (3)	2
* dévouement		édifice	
déatrise		* effet	6
* difficulté	9	• efficacité	
— du jour		* égard	
* diminution		• égoïsme	
* direction		élaboration	

élan		à l'—	
élasticité		* événement (2)	3
* électeur		éventail	経営と 経済
* élément	4	— politique	
— dynamique		• évidence	
empirisme		* évolution	3
encaisseur		excès	2
* enquête	3	• exécution	3
* ensemble		exemplaire	
• enregistrement		* exemple	2
entrave		exergue	
• envoi		exhortation	2
épilogue		exigence	2
* époque		—s nouvelles	
* épreuve		expédient	
équité		* expérience (9)	12
errement		— du moment	
* espèce	2	— récente	
— humaine		* extérieur	
* espoir	4		
* esprit	5	F	
dans cet —		* facilité	
— civique		avec une grande—	四八
* essentiel		• faiblesse (2)	2
essor	2	* fait	4
* étape	4	le — que.....	
étiage		* façon	
* étranger (2)	6	facteur	5

divers —
 —s favorables
 multiples —s
 * faille
 * faim (3)
 * famille
 famine
 fardeau
 fatalité
 * faute
 * faveur
 * fin (2) 4
 à la — de
 • finesse
 fissure
 • fixation
 floraison
 — soudaine
 * fonction 2
 en — de
 — publique
 * fond
 — du problème
 fondation
 * forme
 * formule 2
 * fossé
 fraude

frein
 * froid
 * frontière
 frugalité
 fusion
G
 galop
 * garantie 2
 * gauche 2
 * général
 — de Gaulle
 * générosité 2
 * genre
 germe
 * globe
 • gonflement
 * goût (2)
 • grandeur
 * guerre (3) 3
 — au Vietnam
 — de Corée

H
 • habileté
 • habitat
 * habitude
 * haut

— des tribunes de
congrès

* hëbdomadaire

• hésitation

* histoire

* humanité

I

* idée
—s originales

* ignorance

* imagination 2

• impatience

impératif 2

* importance 2
faible —
— réelle

incitation 2

incertitude 2

incidence

* individu

inégalité 2
—s chocantes

* influence

initiative 4
— américaine

* inquiétude 2

* insecte

— indésirable

insertion

inspiration
— socialiste

instance
—s officielles

institut 2
divers —s nationaux

insuffisance (2) 4
—s déplorables

intensité

* intention 3
avoir l'— de

• interdiction
— faite

* intérieur

• interruption

• introduction 2
— de méthodes nou-
velles

intuition

irrégularité

isolement

J

* jeu

* journal

* jugement

* justice
— sociale

L

lacune 2
* lendemain
levier 2
* liberté 3
libéralisme
— mondial
lien
* limite
lisière
* lutte
* luxe

M

* maître
* majorité 2
malchance
mandant
* marche 2
— en avant
* mathématique
* maximum
* médecin
méfiance
* membre

mémorandum

* ménagère
* méthode (5) 3
* milieu
* milliard
— de dollars
millier
de plusieurs — de
* million
* minimum
* minorité
petite —
* misère
mobilisation
mobilité
* mode 2
à la — gouvernementale
modération
• modestie
* modicité
moitié
moment 2
mauvais —
* monde 2
tout le —
montée
moteur
motif (2) 4

— d'inquiétude
 — psychologique
 motivation
 * moyen (2) 5
 * moyenne
 — européenne
 mutation

N

* naissance
 * nature
 être de — à
 néant
 * nécessité
 négative
 • négligence
 * niveau
 au — des experts
 * nord
 nostalgie

* note

O

objectif (4) 9
 pour — déclaré
 * objection
 principale — française
 observateur 2

observatoire
 * occasion 2
 * œuf
 * ombre
 grande —
 * opinion (2) 5
 — publique
 optimisme 2
 option
 orateur
 * ordre 2
 nouvel —
 * oreille
 * origine
 d'—s distinctes
 ornière
 outillage
 * ouverture

P

palier
 parapet
 * parcours
 pari
 • parlementaire 2
 * parole
 —s définitives
 paroxysme

* parti		—s noirs	
* partie	5	premier —	
une — de		pollution	
partisan		* pompe	
* pas		* porte	
* passage		portée	
* paysan		* portefeuille	
petits —s		— économique	
* peine		* position	
toutes les —s du monde		— française	
perfectionnement	2	* possibilité	
* période	8	posture	
— de difficultés		potentiel	
• permanence		* pratique	
persistance		* précaution	
* personne		précocité	
par —		prédécesseur	
pessimisme		préférence (2)	
— exagéré		préoccupation	
* peuple	2	présentation	
phénomène		* président (2)	7
* phrase		— du Conseil	
* pluie		principe	
* plupart		priorité	
la — de		procédure	
* point (2)	5	* processus	2
— d'interrogation		— identique	
— de l'exposé		promotion	2

— urbaine	
• rentrée	2
réorganisation	
* réponse	2
— négative	
* résistance	
* respect	2
* responsabilité	
ressac	
resserrement	2
ressort	
* reste	
* résultat (7)	16
—s obtenus	
* retard (2)	5
sérieux —	
* retour	3
— au pouvoir	
— aux sources	
* réunion	2
* réussite	
révision	
rigidité	
rigueur	
insuffisante —	
• risque (2)	3
rôle	
rotation	

* roue	
— de l'histoire	
* route	
ruée	
* rythme	
au — de	

S

sacrifice	
scepticisme	
sclérose	
• scolarité	
* sens	
bon —	
semestre	3
* série	3
tout une — de	
seuil	
session (3)	
dernière —	
* siècle	
* signe	4
— caractéristique	
— d'amélioration	
— du temps	
signification	
situation (7)	6
— sérieuse	

• socialiste
 * solidarité 2
 — organique
 sollicitude
 * solution
 * sommet
 * sorte
 une — de
 * souffrance
 • souhait
 • soutien
 souveraineté
 • spécialiste 2
 * stade
 * station (2)
 — d'épuration
 statut
 substance
 en —
 * succès 4
 suggestion
 — américaine
 * sujet 3
 * supplément
 synthèse

* tâche 3
 taudis
 taureau
 * télévision
 ténacité
 * tendance 8
 —s favorables
 tentative
 —s malheureuses
 terrain
 test
 * texte 3
 thème 3
 thèse
 timonier
 * total 2
 * tour (m., f.)
 • tournée
 traîne
 à la —
 * traitement
 * trajet (2)
 trimestre
 truchement
 * type

経営と経済

五六

T

* tableau

U

unification

universitaire

urgence

2

Z

* zéro

ル・モンド紙「經濟週報」欄の語彙

V

vacance

en —s

* vallée (3)

* veille

* verger

* vérité

* viande

* victime

* vieillard

vigueur

2

* village

* ville (4)

3

—s anciennes

virulence

vœu

2

vogue

— de chaleur

五七

* voisin

* voix

2

volant

* vue

3

—s françaises

point de —